



## 第1回南三陸町小学生体育大会

6月1日(木)、町陸上競技場(松原グランド)を会場に第1回南三陸町小学生体育大会が開催され、町内8校の5・6年生約240人が、100メートル走やソフトボール投げなど、7競技18種目に出場しました。

昨年まで、旧志津川町は単独で「陸上記録会」を開催し、旧歌津町は本吉中部小学校体育大会に参加していましたが、両町が合併したことから、本大会が開催されたものです。

訪れた多くの父兄らの声援を受けながら、子どもたちは元気よく、競技に熱中していました。

## 全国大会常連チームが南三陸町で激突!

6月4日(日)、町総合体育館ベイサイドアリーナと志津川小学校体育館を会場に第2回南三陸杯9人制バレーボール選手権大会が開催されました。大会には、地元の志津川クラブ、宮城国体など多くの全国大会を制覇した実業団チーム「東北リコー」、全国大会常連のクラブチーム「北上」など、宮城県と岩手県の精鋭14チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

会場には、バレーボールファンなどが多く観戦に訪れ、全国レベルの試合を楽しんでいました。



## 新しい特産品「濁酒」に期待 今月中旬に提供開始

どぶろく特区の認定を受けて、5月26日(金)に製造免許を取得した三浦さき子さんが経営する農漁家レストラン慶明丸では、6月12日(月)から濁酒の製造が始まりました。

三浦さんは、自家製の「ひとめぼれ」を材料に、県産業技術センターの指導を受けて酒造りを進めています。濁酒は、7月15日(土)からレストランで提供する予定です。

濁酒が町の新しい特産品になることを期待します。

どぶろく特区は、昨年7月に旧志津川町が構造改革特別区域「南三陸型グリーン・ツーリズム特区」に認定され、酒類製造免許取得の要件「年間6キロリットル以上の製造能力」が認定区域内において外れ、少量の製造能力でも製造免許の取得ができるようになったというものです。現在、民宿経営者数名が製造免許取得の準備を進めています。

なお、製造免許が無い者が酒を造ると密造として罰せられますので、ご注意ください。



## みんなで仲良く・楽しい交流会

6月14日(水)志津川公民館を会場に第10回幼児交流会が開催されました。

町内の保育所(園)、幼稚園、事業所内託児所の3歳以上の子どもたち235人が集まり、かけっこや玉入れなどを楽しみました。

会場には父母やおじいさん、おばあさんが大勢訪れ、元気いっぱいの子もたちに声援と拍手を送っていました。